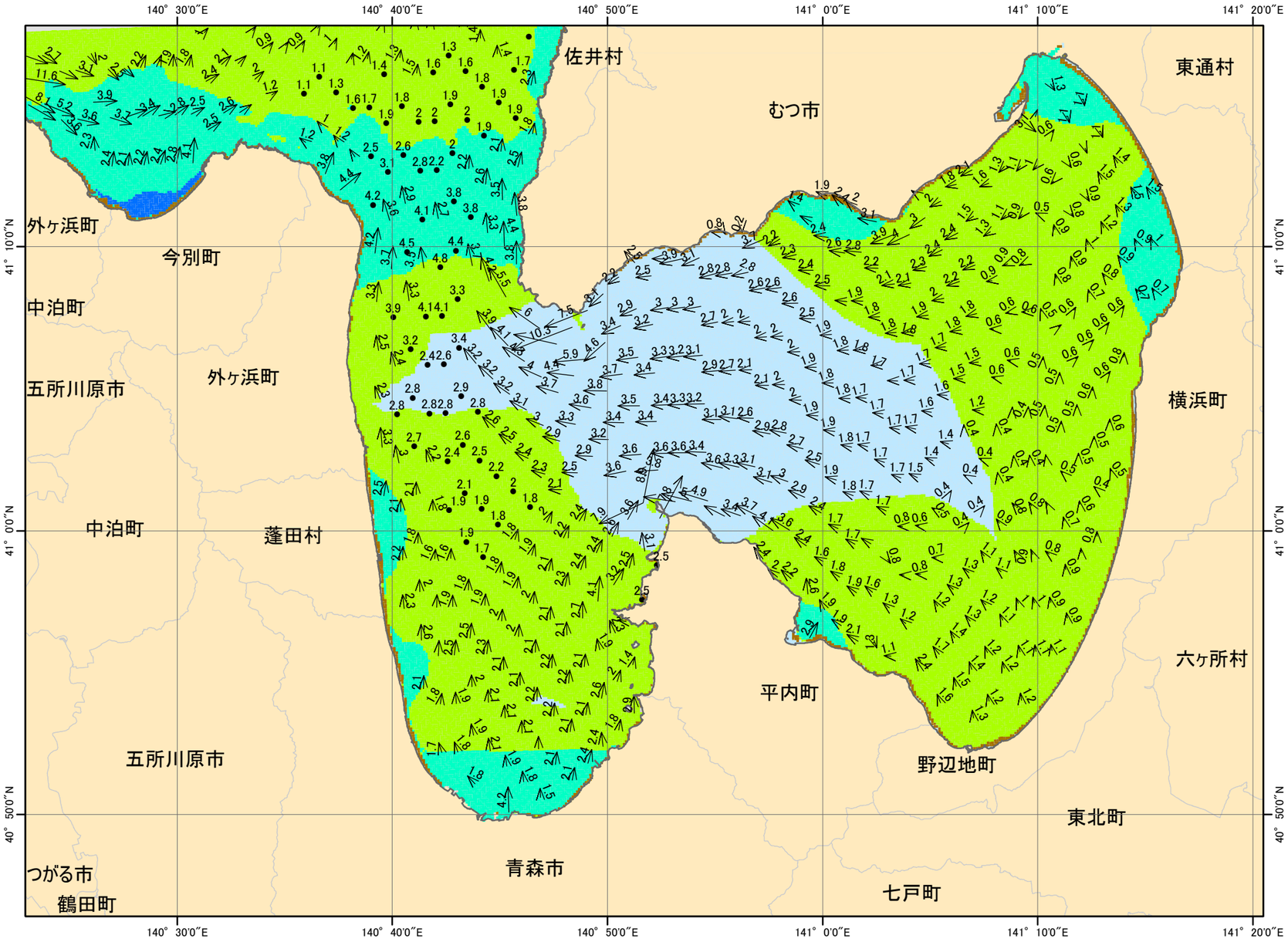
（日本海溝（三陸・日高沖）地震）

陸奥湾　広域津波防災情報図（引潮図）

計算条件：　最低水面（零位）
隆起量　：　平均 -0.76m(-1.79m ～ -0.24m)
Zo　　：　0.37m
備考　　：　本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）



凡例

最大水位低下

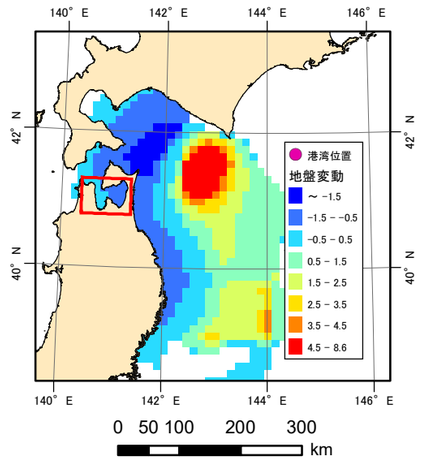
- 5～最大6.4m
- 3～5m
- 2～3m
- 0.5～2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

引潮時最大流〔knot〕

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では流速のみを表示した。

断層モデル



日本海溝（三陸・日高沖）モデル

モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

0　5　10　20　30　40 km

○ 本図の作成にあたっては、”津波解析支援GISシステム（ArcGIS 10 対応）”を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・国土交通省数値情報（ダウンロードサイト https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html（2021年8月2日取得））

作成機関　　：海上保安庁
防災情報図作成年月　：令和 3年11月（初版）
地形データ作成年月　：令和 3年 3月（初版）